



のとしきの1年

平成29年度 能登島地域づくり協議会 活動報告書

2017



会長あいさつ

コミュニティセンター2年目を終わりました。各部会の事務局が机を並べている利点をいかし、横連携しての事業が進んだ一年でした。生活福祉部会では、よりあいの場事業「出張カフェ いっぴき」を集会所等で開催し、町会長はじめ民生委員や福祉推進員を中心に高齢者に限らない地域交流が活発になりました。教育文化部会では、実務を担ってきた公民館最後の年となり、記念誌作成や閉幕の集いなど、閉館とこれからの実施体制についての整理をしました。観光産業部会では、民宿・旅館業組合との連携でロードレース大会参加者への宿泊PRに初めて取り組みました。環境防災部会では喫緊の課題である獣害対策についての視察や、防除の講習会・除雪事業に取り組み、

一定の成果がありました。

自立を目指して事業部の活動も活発になってきました。今年度は、島内で活動する事業者が手を組んだ「ベスカグリ・ネットワーク」も立ち上がり、島内で獲れたイノシシの肉を活用したイノシシメンチカツの開発・販売を手がけ、能登島の土産物開発の足掛かりとすることができました。

各部会それぞれが、自ら立てた計画のもとその都度見直しながら活動を前に進める。そのような体制が少しずつ見えてきたような気がします。



能登島地域づくり協議会
会長 中村 重信

部会長あいさつ

公民館として活動する最後の年でした。運動会に始まり地区体育大会、各種行事等の活動は地域づくり協議会の教育文化部会に、館管理はコミュニティセンターとして引き継がれます。地域の皆様におかれましては、変わらぬご理解・ご協力を頂けますようお願い申し上げます。

教育文化部会 会長 出島 隆

環境防災部会では、運動会やふれあいまつり等、人が集まる機会を捉えて啓発活動を行いました。次年度は島内一斉防災訓練ができないかと考えています。

また、年々深刻になるイノシシ被害に対応するため視察研修や防除の講習会を行いました。

環境防災部会 会長 徳田 淳一

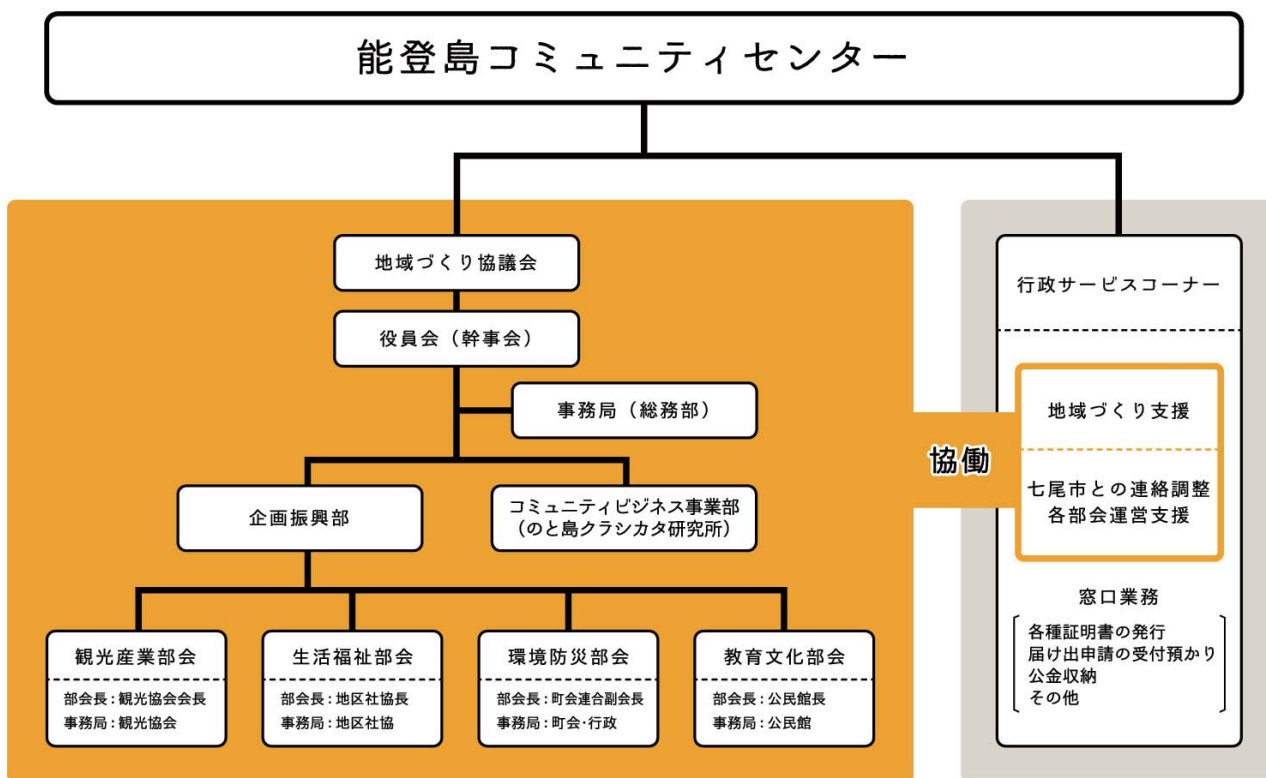
今年度は、出張カフェを能登島地区全体で進めてきました。次年度も地区社協・生活福祉部会の組織体制の整備をすすめ、高齢者をはじめ地域の皆さんが、支え合い安心して暮らせる社会の実現を目指し、ますます活動を推進していきたいと考えています。より具体的に地域の状況を把握しながら、地域の皆さんと連携して地域福祉の向上に努めてゆきます。

生活福祉部会 会長 桂 撤男

当部会では、地区の総合的な発展を目指して観光関係団体と連携し、情報発信やイベント、観光を通じて島の魅力的な『人・食・郷土文化』を味わって頂く体験に力を入れています。能登島が潤い島民の活気と笑顔に繋がる為にも、諸行事等を継続出来るよう努めています。

観光産業部会 会長 谷口 和義

運営組織図



HPの開設
能登島地区コミュニティセンター
の情報を随時発信。



能登島新聞
月1回、各団体からのお知らせを
ひとつにまとめた能登島新聞を4
月～3月まで11号を発行。

平成29年度 カレンダー

- | | |
|---|---|
| <p>2017.4月 町会連合会 総会 交通安全祈願祭 第1回 公民館運営協議会 社会教育協力員会議 民生児童委員定例会（以降 毎月開催） 七尾市公民館連合会 総会 ロードレース大会 勤体協との会議</p> <p>5月 能登島観光協会 役員会・総会 町会連合会 役員会 第46回 ソフトボール大会 第35回 能登島地区運動会 老人クラブ連合会 理事会 地域づくり協議会 総会 コミセン周辺環境整備 ペスカグリネットワーク 総会</p> <p>6月 地域づくり協議会 幹事会 第2回 壮年ソフトボール大会 第13回 フットサル大会 町会連合会 第1回定例会 ひよっこり能登島見守り隊 総会 マツタケ山再生研究会 会議</p> <p>7月 民生児童委員・地域福祉推進員合同研修会 クールシェアキャンペーン（そうめん） 地域づくり協議会 幹事会 ひよっこり能登島見守り隊 出発式 能登島ふれあいまつり 実行委員会 遺族連合会 理事会 救急救命講習会 「島のいっぴき」（向田・曲）</p> <p>8月 地域間交流事業（能登島受入） 地域間交流事業（野々市市訪問） 第1回 壮年グラウンドゴルフ大会 能登島地区戦没者追悼法要 おかえり☆ピアガーデン ドラム缶風呂体験 能登島子ども会議 クールシェアキャンペーン（ところてん） 第37回 ソフトテニス大会 「島のいっぴき」（半浦）</p> <p>9月 多面的・中山間広域連携組織 意見交換会 自衛消防隊訓練大会 福祉推進員 全体研修会 町会連合会 役員会 町会連合会 第2回 定例会 ふれあいまつり打合せ（教育文化部会） 見守り隊 祭礼パトロール（向田・鰻目・曲） 「島のいっぴき」（野崎・長崎）</p> <p>10月 地域づくり協議会 幹事会 東海北陸（石川県）公民館大会 アイス・スムージー講習会</p> | <p>10月 ロードレース実行委員会 準備会 鳥獣被害対策会議 能登島ふれあいまつり 実行委員会 RKKK アイス リンゴジャム作り 見守り隊 祭礼パトロール 「島のいっぴき」（別所・佐波） 観光協会 第1回正副会長会議・第2回役員会 老人クラブ 理事会 ロードレース実行委員会 観光協会（イルカ保護委員会） 研修会</p> <p>11月 鳥獣被害対策視察研修 第2回わいわい能登島ふれあいまつり 白峰まちづくり協議会 視察研修 第5回 ボウリング大会 「島のいっぴき」（鰻目） 教育旅行 反省会</p> <p>12月 第2回 壮年卓球大会 第43回 バレーボール大会 広域連携組織 意見交換会（中山間） 支えあいマップ作り実習 町会連合会 役員会 冬休み 宿題おたすげ会 クリスマス会 観光協会 おもてなし研究所 CM 放送（～2月） 鳥獣被害対策視察研修 報告会 観光協会（イルカ保護委員会） 研修会 地域づくり協議会 幹事会 ロードレース実行委員会 「島のいっぴき」（祖母ヶ浦・八ヶ崎） 歳末高齢者見守り活動</p> <p>2018.1月 七尾市成人式・地区祝賀会 多面的・中山間広域連携組織 設立準備会 観光協会 県知事表敬訪問 観光協会 首都圏視察営業 第2回 公民館運営協議会 市内地域づくり協議会 情報交換会 第11回 卓球大会</p> <p>2月 七尾市公民館大会 第10回 能登島ごっつおまつり 地域づくり協議会 幹事会 観光協会（イルカ保護委員会） 研修会 生活福祉部会 視察研修（小松） 「島のいっぴき」（無関・南・閩） ロードレース実行委員会</p> <p>3月 環境美化ゴミ拾い（万葉マラソンコース） 春休み 宿題おたすげ会 第3回公民館運営協議会 「島のいっぴき」（須曾・二穴・日出ヶ島・三ヶ） 観光協会 平成30年度教育旅行打合せ 観光協会 首都圏修学旅行商談会 観光協会 安全訓練・アレルギー講習会 公民館 閉幕の集い</p> |
|---|---|

将来ビジョン

島の恵
企 画
進行中

島の恵みを
味わい続ける



酒米を作ってお酒を飲もう
田んぼを維持する為に



能登島産マツタケを復活!
里山を保全する為に



海を学び楽しもう
里海の恵みを味わい続ける為に

島の絆
実現化
宣言

島の絆を
深める



全島民が集まる
のとじまフェスティバル
を開催します



だれもが気軽に立ち寄れる
のとじま文庫・カフェ
を作ります



共に支えあう安心な暮らし
を実現します

能登島
暮らし
自慢

能登島の暮らし
を自慢する

能登島新聞を発行します

各種団体からのお知らせを
ひとつにまとめた能登島新
聞を発行します。



これで能登島の動きがすべ
てわかる、そんな地域密着
の情報誌を目指します。

能登島HPを開設します

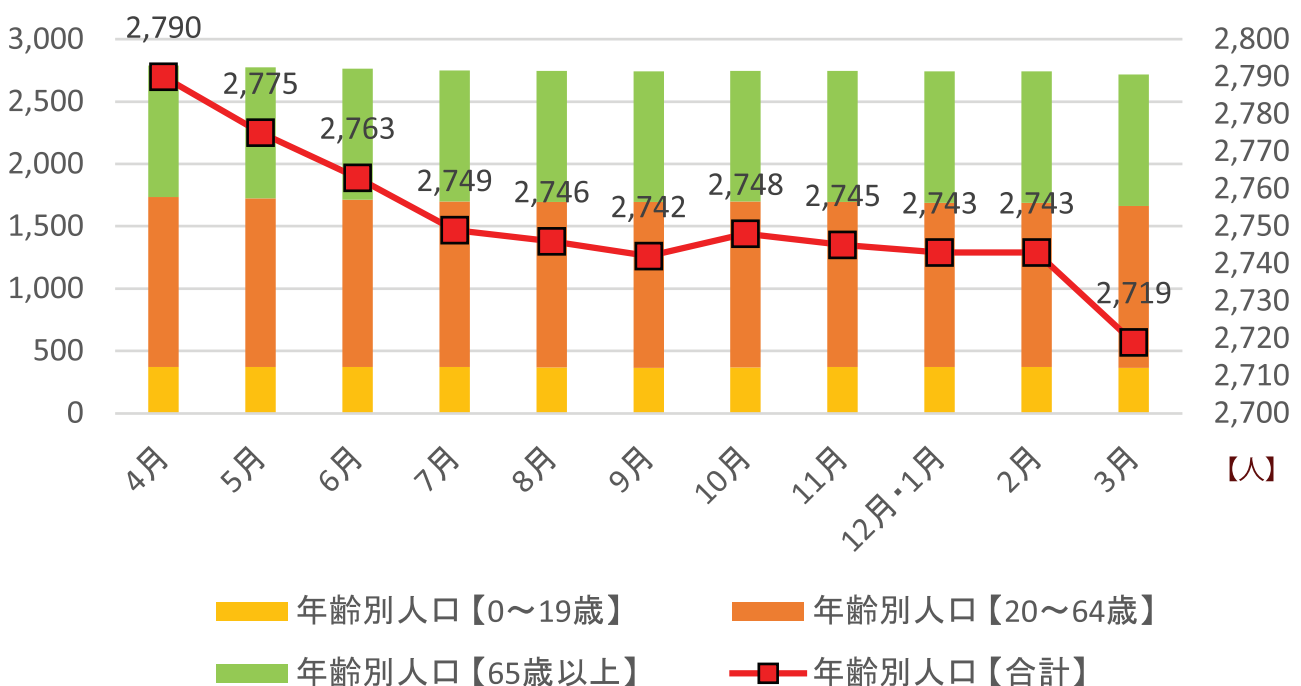
島内の観光情報や移住関連
情報、島の生活など、のと
じま暮らしの魅力を発信す
るホームページを開設しま
す。
体験プログラムなどの申込
フォーム等も設置。



のとじま議会を開きます

地域づくり協議会の総会を充実させた「のと
じま議会」を開催します。
将来ビジョンの達成に向けたアクションプラ
ンの進捗や各団体の活動状況について共有し
ます。
また、島内の子供たちと対話する「のとじま
子ども会議」の開催を予定しています。

能登島 1年間の年齢別人口表 (H29)



島の恵みを味わい続ける

酒米を作ってお酒を飲もう 田んぼを維持する為に

能登島の酒プロジェクト

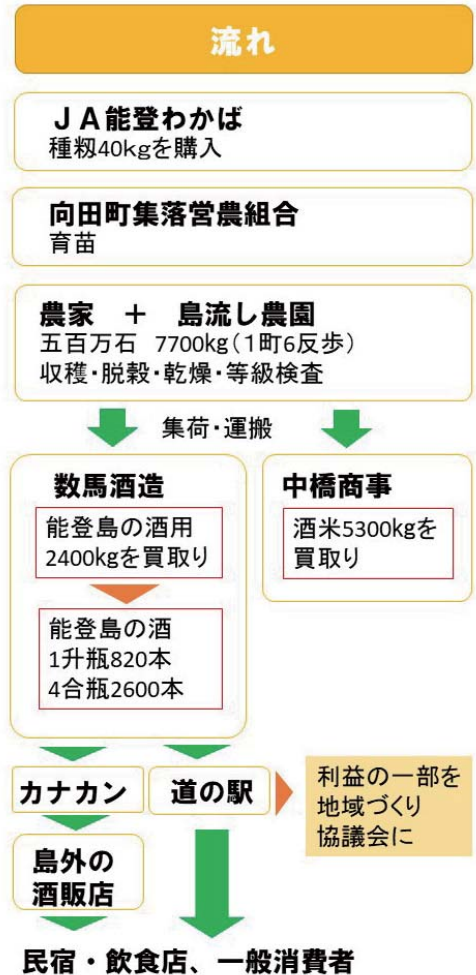
「能登島の酒プロジェクト」とは、「耕作放棄地を減らすこと」「新たな特産品をつくること」「島の人に愛される酒をつくること」を目標に、能登島観光協会青年部が島の生産者と協力し、能登島の酒米で日本酒をつくるプロジェクトです。

今年も、二穴、野崎、長崎、祖母ヶ浦、向田、曲、南、閨の8組の生産者で、酒米「五百万石」を合計1町6反歩作付し、約7700kgの酒米を収穫することができました。このうち2400kgを数馬酒造に納品し、1升瓶約820本、4合瓶約2600本の純米「能登島」が完成しました。

今年も在所の初寄り合いと、ごっつおまつりに間に合うよう発売日を2月4日に早めました。昨年同様に発売前日の2月3日は向田の伊夜比咩神社にて奉納を行いました。当日は能登島地域づくり協議会、町会連合会、道の駅のとじま、酒米生産者、能登島観光協会青年部などの能登島の関係者に加え、醸造元である数馬酒造の数馬社長にもご参列いただき、総勢40名以上の方々にご参列いただきました。奉納の最後にお神酒として皆さんで飲んだのですが、今年も皆さんから「うまい！」という声を頂くことができました。数馬社長によると、「今年のお酒づくりは衛生管理を徹底したので、雑味が少なく、香りの高いお酒に仕上がっている」とのことです。

純米「能登島」は、主に道の駅のとじまで販売しています。まだ飲んだことがないという方は是非一度飲んでみて下さい。

能登島の酒づくりの流れ



鳥獣被害対策 田畑を守る為に

イノシシ被害対策

今年度は七尾市の地域提案型協働事業を活用し、鳥獣（イノシシ）被害対策事業を行ってきました。地域で勉強して鳥獣被害対策を進めながら、イノシシの捕獲から加工まで一貫して行ってイノシシ肉や加工品を特産品として販売している島根県の「おおち山くじら生産組合」の視察、能登島で捕獲されたイノシシの解体実習、動物行動学の専門家を招いての被害対策研修会などを開催しました。

1年間を通して、鳥獣被害は正しく対処すれば防げること、必要以上に悲観的になる必要はないことを学んできました。島根県では「100歳までできる畑づくり」を掲げて被害を起こさない畑づくりを地域全体で学んでいます。能登島でも、畑や田んぼの鳥獣被害に悩まされることがなくなるよう、地域の皆さんと一緒に勉強してゆきたいと思えます。



海を学び楽しもう 里海の恵みを味わい続けるために

マリンガイド・教育旅行

【マリンガイド】

各分野で個々に見直しが行われています。能登島イルカ保護委員会の一部にマリンガイドがあり、今年度から研究会などを開催し、新たな仕組みづくりに取り組んでいます。講師を招き、様々な観点から学び、保護委員会と他業者との関わりやお客様への対応、組織としての基盤づくりなどの確立に向けて話し合いを続けています。

研究会で得たものを新たな財産とし、より能登島の活性に貢献できるよう実践に向けて進めていきます。

【教育旅行の受け入れ】

県内外の小・中・高校生から海外の生徒まで、能登島での体験・宿泊を楽しみ学んでいかれました。昨年は体験のみで訪れたある学校は、今年は宿泊も兼ねて来て頂き、次年度は2泊にしたいとの事で、能登島での活動にとっても意欲的です。旅行会社からは、能登島が都会に暮らす子供たちの『ふるさと』のようなものになって欲しい、との思いも聞き、感慨深いものがありました。

再来年度にかけて首都圏からの新規の学校が増える予定もあり、リピーターになっていただく為に、諸団体との連携、体験の検討を引き続き行っていきます。



・マリンガイド講習会



・ドラゴンボート体験



・お囃子体験

島の絆を深める

全島民が集まる のとじまフェスティバル を開催します

わいわい能登島ふれあいまつり

昨年コミュニティセンター化を機に始まった「わいわい能登島ふれあいまつり～食と文化のフェスティバル～」は昨年の課題を踏まえての第2回目でした。作品展示、舞台アトラクション、防災ブース、浜焼・飲食コーナー、ガラス美術館をはじめとする子ども向け体験コーナー、お楽しみ抽選会も開催。各部門で新たな試みもうまれ、来場者約2,200人と沢山の人で賑わいました。

詳しくは後述しますが、夏の子ども会議で発案された小学生のお店「RKKKアイス」や島で捕れたイノシシ肉で作ったメンチカツも販売し、大好評のうちに終わることができました。

舞台プログラムの最後には小さな子どもたちからお年寄りまでが参加してのバルーンリリースを行いました。晴天に吸い込まれていく風船を眺め、会場全体が一体となった楽しいひとときでした。



だれもが気軽に立ち寄れる のとじま文庫・カフェ を作ります

図書コーナー・ウォーム/クールシェアキャンペーン

学習センターから図書を移設し、もともとの蔵書に加え隔月で中央図書館からも図書を借入し、常時約2,500冊の蔵書で図書コーナーを運営しています。図書館とも連携して本の返却やリクエストもできます。毎月平均110冊の貸出があり、昨年よりも貸出数は伸びました。どなたでも借りることができるのでぜひお立ち寄りください。夏のクールシェアキャンペーンではそうめんやとろろのふるまい、冬はコタツを設置したことで、バス待ちの方の居場所にもなり好評なため、次年度も引き続き実施していきたいと考えています。

カフェは今年度、積極的に開設できませんでしたが、次年度は土曜日中心にコミセン図書コーナーで開設できるよう、考えていきたいと思ひます。



共に支えあう安心な暮らしを実現します

出張コミュニティカフェ「島のいっぴき」を通年で開催

昨年5月で営業を終了したおにゆりの里のコミュニティカフェ「島のいっぴき」の活動を引き継ぎ、各集落にお弁当を届けて集会所などで集まって食べてもらう企画「出張コミュニティカフェ 島のいっぴき」を、通算12回、各集落の集会所で開催しました。

同じ在所に住んでいても、普段は意外に顔を合わせる機会がないものです。顔の見える地域での支え合いを広めるために、年に1度でも一緒にお弁当を食べながら交流をしませんか、という趣旨で、町会長さん、民生児童委員さん、地域福祉推進員さんなどの協力を得て参加を募りました。実際に参加してくれた方からは、皆としゃべりながら食事をするのが楽しかったという声が多く、来年度も継続したいと考えています。

民生児童委員・地域福祉推進員合同研修会

能登島コミュニティセンターで民生児童委員さんと地域福祉推進員さんの合同研修会を開催しました。今年度は「よりあいの場をつくるには」というテーマで、ワークショップ形式の意見交換会を行いました。「よりあいの場」とは、歩いて通える範囲で地域の住民が集まり、茶話会や体操など気軽に楽しめる活動を行いながら交流するサロンのことで、高齢者の外出機会になったり、子どもから高齢者まで多世代の交流の場となったりする地域福祉活動として、七尾市市社会福祉協議会が助成を行うなどして推進しています。この「よりあいの場」づくりを進めていくために、皆さんと一緒に、どうすれば地域に広まるか、あるとどのような良い影響があるか、などの課題について意見交換しました。

よりあいの場があると良いことが多い、という意見が多かったものの、実際に活動をするためには世話人がいないなど課題も多いという結果でした。

小松市社会福祉協議会の取組みを視察

地域づくり協議会と生活福祉部会で小松市にて視察研修を行いました。小松市社会福祉協議会の事業である「小松市サポートクラブ」等についての講義と若杉公民館で開催されている「杉カフェ(ミニデイ)」を見学しました。

「サポートクラブ」は、高齢者の「日常のちょっとした困りごと」を有償ボランティアがお手伝いする制度で、利用者は最初にケアマネジャーと一緒に支援内容・日程を決め、ボランティアが利用者宅を訪問します。

「杉カフェ」は小松市が実施を進める「ミニデイ(ミニデイサービス)」の一つで、地域の高齢者などが公民館(集会所)に定期的に集まって交流する場となっています。お茶を飲みながら歓談したり、将棋や囲碁を楽しんだり、思い思いに過ごされているようでした。

能登島で小松の取組をそのまま行えるわけではありませんが、今後出張カフェ「いっぴき」や支え合いマップ作りなどを通してどのような形が可能か検討を進めたいと思います。



出張いっぴき in 曲



民生児童委員・地域福祉推進員合同研修会



小松市「杉カフェ」視察

能登島の暮らしを自慢する

のとじま議会を開きます

おかえり★能登島ビアガーデン

昨年開催の「若手会議」の流れから、今回はもっと気楽な会をということで、お盆の帰省シーズンに合わせて初開催しました。

定住促進住宅に住まいする人、帰省に合わせて同窓会をする人、何かおもしろそうやと集まってくれた人合わせて70名ほどになり、普段あまり付き合いが無い者同士でも芝生で楽しく語りあうことができました。

昨年のような真面目な会と、1年おきに交互に開催するのもいいかもしれません。今後もこのように集まる場をもつことで島の絆を再確認し、離れても島の事を思う機会をつくり将来の島の担い手を育てていきたいと思ひます。



おかえり★能登島

生ビールあり
焼鳥・カレー
ゲームコーナー
DJブース

ビアガーデン

NOTOJIMA BEER GARDEN 2017

8月13日(日) 18時スタート

夏と言えばやっぱりビアガーデン!
美味しいお酒と食べ物・音楽あり!
楽しいゲームコーナーもあるよ!

参加費 ★飲み物・食べ物数量限定につき持込み歓迎!
(炭・コンロあり、焚くこともできます)
500円(1ドリンク・つまみ付)

場所 ★駐車場に限りがあります。乗合せにご協力ください。
★飲酒される方はハンドルキーパーの確保を!
**能登島地区コミュニティセンター
芝生広場(足湯側)**

主催：能登島地域づくり協議会・七尾市能登島公民館
TEL 84-1110 / FAX 84-1311

のとじま子ども会議



2回目となる子ども会議。小学校の協力を得て夏前から準備し、夏休みのサマースクール期間の1日を充ていただき開催しました。

今年は6月に民生委員や社会教育委員、館長など地域の大人も入り5、6年生対象に準備会を開催。「イノシシ被害」「同じ野菜が同時期に採れすぎ困る」「移住者を増やすには」という、協議会でも取り組んでいる3つの課題をお芝居形式で披露し、理解を深めてもらいました。発表資料作成の授業もお手伝いし、まだまだ手探りですが学校との連携の手ごたえを感じています。

子ども会議当日は「イノシシカレーの販売」「野菜詰め放題のお店」「アイス&スムージーのお店」等、かなり具体的な案が発表されました。今年度はふれあいまつりで実施することを最終目標とし、最後に参加者全員が投票し「アイス&スムージーのお店」が選ばれました。

出店準備として5・6年生対象にのとじまファームに協力いただいていたの試食会、チラシ・ポスターの作成、アイスにトッピングする能登島産のりんごジャムと長崎産の塩キャラメルづくりを実施。当日は100食分が2時間でなくなってしまう人気ぶりでした。これからも子ども達と一緒に能登島の課題に向き合っていければと思います。

地域づくり協議会

能登島版 GIS

地域づくり協議会では「能登島版GIS」の整備を進めています。GISとは、カーナビやグーグルマップの地図情報のように、地図上の「場所」に関する情報を総合的に管理、分析するための地理情報システムです。

現在は住宅地図などを基に、福祉（高齢者世帯など）、農地（田、畑の耕作者などの情報）、鳥獣対策（イノシシ被害の場所や箱わなの位置など）の主に三つの分野で、データの入力作業がほぼ完了していますが、より最新で正確なデータにするために直接聞き取りをする必要があり、今後も聞き取り調査を進める予定です。

昨年度から、各地区の情報収集の助けになるような、タブレット端末やスマホで使える情報入力・収集のためのアプリを開発しています。来年度は民生児童委員さんや生産組合などに実際に使っていただきながら、調整を行いたいと思います。

GISは地味な事業ですが、データとして残すことで分析ができ、今後の方向性を考えやすくなります。地域のためになるシステムになるよう、努めてゆきたいと思います。

能登島ロードレース 2017

平成30年の能登島ロードレース開催について、協議を重ねた結果、能登島地域づくり協議会主管の大会として継続して開催することとなりました。

能登島ロードレース実行委員会を組織し、この大会を開催することで「島の結束」を強め、観光をはじめとして様々な目的で能登島に来られる方に「能登島の元気！」をアピールしていきたいと思えます。

のと島クラシカタ研究所

海や山で体験する

①のと島ちびっこ探検隊

田植えや稲刈りをしたり、たこすかしにチャレンジしたり、鏡餅をつくったり、幼児と親が能登島の里山里海で楽しめるようなプログラムを実施しています。今年度は延べ208名の親子に参加していただきました。

②夏休み子供キャンプ

海水浴、釣り体験、工作体験やBBQなど、島の豊かな自然の中で自発的に学ぶ子供向けのキャンプです。今年で8年目を迎え、毎年参加してくれる子供の成長が楽しみです。のとしまてまつりのチームとも協力して、新しくデザインキャンプを実施し、今年は73名の子供たちに能登島の夏を満喫してもらいました。

③食を楽しむ島ぐらし

能登島の食を軸にして能登島の暮らしや文化を学ぶプログラムを実施しています。今年は秋に民宿のおかさんとキノコ採りに行って、一緒にキノコ料理を調理するプログラムを実施しました。なんと海外からの応募があり、フランス人や日本人の方々6名に能登島の食を楽しんでいただきました。

④クラシノサイクル

ガイドと一緒に自転車で能登島をめぐりながら、能登島の暮らしを体験するプログラムです。今年は、フランス人やアメリカ人など外国の方を含む26名に参加していただきました。ツアー中に畑をしているおばあちゃんからキュウリをもらったり、ビニールハウス張りを手伝ったり、島の方々との交流が非常に魅力的であることがわかりました。



開発中の「農福記録アプリ」



のと島ちびっこ探検隊



クラシノサイクル

のとじまペスカグリネットワーク

ペスカグリネットワークでは、能登島の食材や加工技術などを活用し、観光客向けの対面販売商品や、お土産として買ってもらえる加工品のブランド化を行ないました。

「能登島まあそい」

能登島の風景、食文化、生活文化を守り、未来に伝えていくため、能登島ならではの「モノ」と「コト」をつくりだす活動をから「能登島まあそい」は生まれました。

能登島の暮らしを旅するような滞在プラン、お土産品、そしてHPや紙媒体などで、「能登島まあそい」ブランドの企画・販売・発信を目指します。

商品開発 土産品「能登島まあそい」シリーズ

能登島まあそいでは、能登島の暮らし、風景の中心にあるのは「米」と位置づけ、米を中心とした土産品の展開を行います。

商品開発 イノシシメンチカツ

対面販売商品として、現在田畑を荒らして困っているイノシシを活用したメンチカツの開発を行いました。

プロの料理人がレシピ監修を行い、観光業・飲食店・民宿の方々による試食会を開催。メディアの注目度も高く、多くのテレビ局に取りあげてもらいました。「のとじま手まつり」「ふれあい祭り」で販売したところ、とても好評で手応えを感じました。一方メンチカツは材料費や加工のコストがかかるので、再考する必要も感じました。

教育文化部会

第13回 能登島地区運動会

5月28日(日)に開催しました。毎年午前中に小学校の海の子運動会、午後から地区運動会と同日開催しています。

地区運動会には10チーム約700名の参加があり盛会のうちに終わることができました。今年は防災部会や女性会、炊き出し訓練を兼ねてイノシシ鍋のふるまいと、オープン種目でのバケツリレーを新たに開催しました。



- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1位 野崎 | 2位 緩目 | 3位 西北 | 4位 向田 |
| 5位 半浦 | 6位 四村 | 7位 須曾 | 8位 曲 |
| 9位 三海 | 10位 三ケ | | |



ふれあいまつりでの販売



イノシシメンチカツ

能登島地区体育大会

地区青年団が9チームに分かれ、年間6種目の総合成績を競う地区体育大会。バレーボール大会までは向田が1位でしたが、最後の卓球大会の成績により抜かれ、総合優勝は野崎チームとなりました。年々団員不足が深刻になっており、次年度から半浦も西部チームに合流する事になりました。

40歳以上が参加する壮年の部大会では、ソフトボール、グラウンドゴルフ、卓球大会が行われました。



| 平成29年度 能登島地区体育大会総合得点表 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|------|------|--------------------|------|-------------------|------|--------------------|------|-----------------|------|--------------------|------|----------------|------|
| 種目 | 総合得点 | | ソフトボール H29.5.14 | | フットサル H29.6.18 | | ソフトテニス H29.8.20 | | 駅伝 H29.10.29 | | バレーボール H29.12.3 | | 卓球 H30.1.28 | |
| | 順位 | 得点 | 順位 | 得点 | 順位 | 得点 | 順位 | 得点 | 順位 | 得点 | 順位 | 得点 | 順位 | 得点 |
| 野崎 | 1 | 79.0 | 3 | 12.0 | 3 | 12.0 | 3 | 12.0 | 1 | 15.0 | 2 | 13.0 | 1 | 15.0 |
| 向田 | 2 | 75.0 | 1 | 15.0 | 1 | 15.0 | 4 | 11.0 | 2 | 13.0 | 3 | 12.0 | 6 | 9.0 |
| 西部 | 3 | 70.0 | 4 | 11.0 | 6 | 9.0 | 2 | 13.0 | 3 | 12.0 | 1 | 15.0 | 5 | 10.0 |
| 曲 | 4 | 68.0 | 2 | 13.0 | 4 | 11.0 | 1 | 15.0 | 6 | 9.0 | 6 | 9.0 | 4 | 11.0 |
| 須曾 | 5 | 57.0 | 6 | 9.0 | 7 | 8.0 | 5 | 10.0 | 5 | 10.0 | 7 | 8.0 | 3 | 12.0 |
| 四村 | 6 | 48.0 | | | 2 | 13.0 | | | 4 | 11.0 | 4 | 11.0 | 2 | 13.0 |
| 三海 | 7 | 40.0 | 5 | 10.0 | 8 | 7.0 | 6 | 9.0 | 8 | 7.0 | 8 | 7.0 | | |
| 鎌目 | 8 | 36.0 | | | 5 | 10.0 | | | 7 | 8.0 | 5 | 10.0 | 7 | 8.0 |
| 半浦 | 9 | 0.0 | | | | | | | | | | | | |

ひょっこり能登島見守り隊

能登島地区では青少年健全育成や地域の安心安全を守ることを目的として見守り隊を結成し、青色パトカー8台で巡回しています。定期的な巡回の他、夏休みや祭礼時の特別パトロールも実施しています。



地域間交流事業

野々市市押野公民館との地域間交流事業を行いました。それぞれの地域で1泊2日のツアーを行い交流をしました。8月1・2日は島で地引網や磯遊び、里山工作を体験してもらい、5・6日は金沢工業大学の見学や大学生と音の工作実験、勾玉作りをし、あらためて自分の地域を見つめるきっかけになりました。



能登島地区新成人祝賀会

1月7日(日)、「歩(あゆむ)～新しい夢に向かって～」をテーマに平成30年七尾市成人式が行われ、能登島地区は18名の新成人が出席しました。地区祝賀会はコミセン和室で開催。中学時代恩師からのメッセージが寄せられ、旧交を深めました。



サンライフプラザでの成人式

島全体でビジネス推進

旅行商品など開発

能登島地域づくり協 新組織設立

七尾市の能登島地域づくり協議会は、島内の農家や漁師、民宿、住民などのグループが連携し、農産物や海産物の加工や里山里海の魅力を最大限に旅行商品の開発などに取り組む新たな組織を設立した。これまで各自が行っていた事業を組み合わせ、島全体でビジネスを推進することで収益向上につなげる。

組織の名称は「能登島ペスカグリ・ネットワーク」で、「ペスカグリ」はイタリア語で漁を意味する「ペスカ」と農業「アグリ」を組み合わせた造語である。農林水産省の農山漁村振興交付金と県のいしかわ里山振興ファンドの助成金を活用して運営する。

島内では、イルカウォッチングやダイビングなどの観光資源をはじめ、豊かな里山里海の恵みを生かした加工品の生産、販売などを行う業者や団体はいるが、資源を組み合わせ商品化や戦略的に広報を図る機関がなく、同協議会では、昨年夏ごろから組織づくりを進めてきた。

新たな組織では、商品開

平成29年6月28日 北国新聞

（平成29年）8月30日（水曜日）

北 陸 中 日

こんな店 祭りでいかが

能登島小生 アイデア提案、投票



能登島子ども会議のアイデアコンテストで優勝した班のメンバー＝七尾市能登島小で

だった班の案は、十一月の地域の祭りで実現される。児童約四十人が十班に分かれ、下級生や地域住民を前にアイデアを披露した。農作物への被害が問題となっているイノシシの肉と売れ残った野菜を利用したレストランや料理教室の提案などがあつた。

会場での投票で一位になったのはアイス販売を提案したグループ。容器の裏には島の名所を描く。六年生の松本蓮矢君（こ）は「班で協力して優勝できた。ポスターも大きい字で見やすく書けた」と話した。今後、六年生全員で案を具体化していき、十一月五日のふれあいまつりで出店する予定。（中川絃希）

小学生が地域の課題解決策を考える「能登島子ども会議」が二十九日、七尾市

平成29年6月9日 北国新聞



踊りの輪を広げる住民と生徒＝七尾市能登島鏡目町

伝統の踊りで交流の輪

昨年（28年）に引き続き、教育旅行で七尾市能登島鏡目町に滞在中の岐阜県郡上市八幡中2年生74人は8日、同町の集会所で国重要無形民俗文化財である伝統芸能「郡上おどり」を住民約70人に披露した。昨年に続き、今年も地元の人と交流の輪を広げようとしている。

と住民の交流の輪を広げようとしている。今後、交流の輪が広がっていくと期待されている。

郡上おどりの披露に向けて能登島鏡目町の金世帯を回り、手作りのチラシを配った。八幡中の和田陽喜さん（13）は、「たくさんの人に郡上の文化を伝えることができた」と笑顔を見せた。教育旅行の受け入れを担当している能登島観光協会の谷口和義会長は「住民は生徒が訪れることを楽しみにしている。今後、交流が続いてほしい」と話した。

平成29年8月30日 北国新聞

ビアガーデン設け
若者の交流機会に

能登島

七尾市の能登島地域づくり協議会の「おかえり能登島 ビアガーデン」は13日、能登島地区コミュニティセンターで開かれ、帰省客が多彩な催しを通して交流を深めた。

ヨーヨー釣りやくじ引きなどの縁日、イノシシ肉カレーの飲食ブースが設けられ、旧盆でふるさとに戻った島民が楽しいひとときを過ごした。若い世代が集える機会を作ろうと初めて企画された。

29年8月北國

平成29年8月14日 北國新聞

平成30年2月4日 北國新聞

地域づくり 新たな場へ

2018/2/4 北國

4月、コミュニティセンターに移行



最後の公民館大会であいさつする山本会長
＝七尾市のサンビーム日和ケ丘

七尾市公民館大会は3日、同市のサンビーム日和ケ丘で約250人が参加して開かれ、公民館活動が紹介された。七尾市では4月から全22館が15地区の「コミュニティセンター」に移行するため、58回を数えた大会は今回が最後となった。あいさつした市公民館連合会の山本進会長は「少し寂しいが時代の流れ。自分たちの町は自分たちで、それぞれの地域にあったまちづくりを進めていく」と決意を述べた。

七尾市では2016年から「コミュニティセンター」に加え、各地区に「コミュニティセンター」を一点とする「地域づくり協議会」が公民館の生涯学習活動を継ぐ。

七尾で最後の公民館大会

住民で組織される協議会が各地区の福祉、防災などの業務も担い、地元主導の地域づくりが期待される。公民館の「コミュニティセンター」化は坂井市や静岡県袋井市など他県で例があるが、県内では初となる。旧七尾市では1956（昭和31）年に公民館連合会が設立され、大会は60回35年から始まった。半世紀以上にわたる活動の歴史を振り返った山本会長は、「コミュニティセンター化に「不安もある」としながら「これまでの生涯学習活動にプラスして防災や福祉などの地域活動をするのが改革の目的。理解してほしい」と呼び掛けた。

不嶋豊和市長は祝辞を寄せ、岡野崇副市長が代読した。公民館の歴史は長く、集いの場、学びの場としての地域のなごみは大きい」とした上で「新制度のスタートには何かと戸惑いもあると思うが、地域の発展のために取り組んでほしい」と

協力を求めた。来場した公民館関係者からは「自助共助のまちづくりという理念はよく理解できる。それを、どう血肉にしていくのが難しい」との意見も聞かれた。

大会では、浅野秀重全大教授が「『攻め』の地域づくりをどう進めるか」と題して講演し、田鶴浜公民館が事例発表を行った。太鼓や歌謡舞踊、三味線など公民館教室の発表もあった。

ドラム缶 いい湯だな

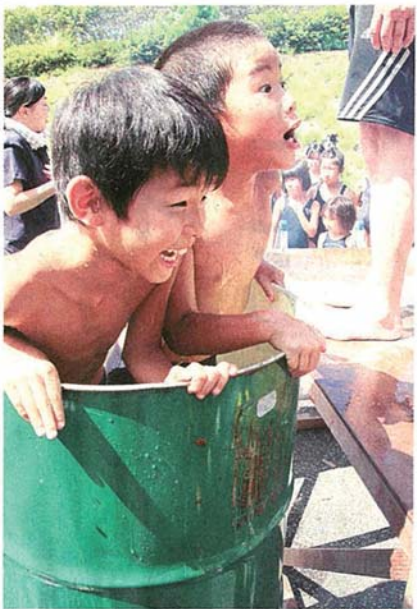
能登島小児童が入浴体験

不要となった木を新にした「ドラム缶風呂体験」が七尾市能登島公民館で18日開かれ、能登島小学校一・四年生二十五人が参加した。昔ながらの風呂の仕組みを学びつつ、実際に入浴を楽しんだ。

公民館の職員が、温度調節の方法や熱くなるドラム缶の底に板を敷く理由などを説明。児童は「かわかわと薪を火にくべていた。お湯が沸くと職員に抱えられ二人ずつお湯の中へ。初めは「ぬるーい」と笑っていた児童も「やっぱり下の方は熱いよ」と言いながら、ドラム缶風呂の特徴を勉強した。二年生の藤琉進君「モロは楽しかった。気持ちいい温度だった」と喜んだ。参加者は能登島で採れた海藻を原料に、とろてん作りにも挑戦した。

29年19日中（中川絃希）

平成29年8月19日 北陸中日新聞



ドラム缶風呂に入る児童＝七尾市能登島公民館で



平成 29 年度 能登島地域づくり協議会 活動報告書
「のとしまの 1 年」

発行：能登島地域づくり協議会
石川県七尾市能登島向田町ろ部 8 番地 1
能登島地区コミュニティセンター内